



# 学校だより



墨田区立第三吾孺小学校

校長 川中子登志雄

平成31年3月1日

3月号

## 地域の子育てと協働する

校長 川中子 登志雄

早いもので、平成30年度もとうとう最後の月を迎えました。お陰様で、三吾小の子供たちは、インフルエンザにも負けず、元気に冬を乗り越えてくれそうです。区内の小学校25校中21校で学級・学年閉鎖が行われたそうです。ご家庭でも予防、健康管理のご協力をいただき、ここまで感染拡大を防ぐことができました。

さて、先日、両国にあります国際ファッションセンターで行われた「全国地域福祉施設研修会」に、本校いきいきスクール委員長の粕谷秀雄様とともに分科会のパネリストとして招かれ、三吾小の現状についてお話しする機会がありました。私たちの参加した第4分科会は50名ほどの分科会で、「地域福祉と小学生の放課後を考える」というテーマのもと、子供たちの安全・安心な放課後の居場所作りを考える討論が行われました。

はじめに、淑徳大学総合福祉学部教授の柏女霊峰先生から、児童の放課後対策に関する国の動向について講義がありました。放課後の子供たちの居場所として、厚生省(当時)によって児童館に「放課後児童クラブ(学童クラブ)」が作られるようになり、その後現在まで様々な条件整備も行われてきたとの説明を聞きました。それからも共働き家庭等が増え、学童クラブだけでは入所を希望する子供を受け入れることが困難になり、地域の「学校」を有効利用したいと考えるようになっていきます。ご存じの通り、「学童クラブ」は厚生労働省が管轄する「福祉」の分野のものです。それに対して、三吾小の「いきいきスクール」は、文部科学省管轄の教育委員会が進める「教育」の分野のものです。今、放課後の子供たちの安全・安心な居場所作りのために、国はこの二つをうまく融合させる「放課後子ども総合プラン」を進めようとしています。そのために考えられている場所が地域の「学校」で、この三者が協力して、放課後の子供たちの居場所作り対策に乗り出さなければならぬという結論になりました。

粕谷様からも、これまでのいきいきスクール運営の経緯と現状についてご説明があり、それぞれが国の大きな流れの中で進められているということがはっきり分かりました。そして、このように学童クラブ(放課後児童クラブ)といきいきスクール(放課後子供教室)、そして地域の学校がうまく連携して、共存しているところというのは、全国でもまだまだ珍しい事のように感じました。「三吾小は地域の学校。地域とともに子育てを協働する」という経営方針の大きな柱を立てて進んできた今年度の第三吾孺小学校は、全国的に見ても注目に値する存在であることを知った、うれしい日になりました。

### ◆◆◆ 3月の予定 ◆◆◆

\* 毎月10日は「すみだいじめ防止の日」

1	金	北斎美術館見学(3)		17	日			
2	土	謝恩会(6)		18	月	全朝		
3	日			19	火		補	
4	月	全朝	委	20	水	卒業式予行(5・6)		
5	火		補	21	木	春分の日		
6	水	スピトラ ふれあいサロン(1・6)		22	金	修了式		
7	木	音朝 たてわり給食	補	23	土			
8	金	安全指導	補	24	日			
9	土			25	月	卒業式(5・6)		
10	日			26	火			
11	月	全朝	ク	27	水			
12	火		補	28	木			
13	水			29	金			
14	木	児集	補	30	土			
15	金			31	日			
16	土	読聞集会		※3月の避難訓練は、予告なしで実施します。				

## ◆◆◆ 6年生を送る会の報告 ◆◆◆

5年担任

代表委員会の5年生が中心になって行いました。1年生と6年生が手をつないで入場した後は、各学年から出し物の贈り物です。1年生は、6年生に跳び縄の挑戦をし、回数を競い合いました。2年生は、6年生の1年間を振り返り、お芝居のように発表しました。3年生は、6年生の学芸会を彷彿させる呼び掛けとダンスを披露しました。4年生は、6年生にとって思い出の深い歌を歌いました。5年生は、6年生にエールを送った後、6年生から校章旗を引き継ぎました。

この日を境に、5年生は6年生から校章旗の揚げ降ろしや朝の挨拶等の仕事を引き継ぎます。7日に控えるお別れ給食会では、5年生が中心となって、たてわり班で楽しく会食をします。教員一同、温かい目で見守りながら、学校のリーダーとしての態度を身に付けられるよう指導していきます。4月から新6年生の活躍を、どうぞご期待ください。



## ◆◆◆ 生活指導部より ◆◆◆

生活指導部

本校では自主自立・自律の生活態度を身に付けさせるための手立てとして「三吾あいことば」を策定し、年間を通じて指導をしてまいりました。12月の児童アンケートでは、「あいことばを意識して生活することができた」と、肯定的回答をした児童が86%となっており、7月の調査より5ポイント程度上昇しています。実際に行動が身に付くには、まだ課題のあるところですが、ご家庭でも「三吾あいことば」を意識していただけるようご協力お願いいたします。

- はじまりかまえ
- 時まもり
- まっすぐせすじ
- 聞き目聞き耳
- あいさつえがお
- へんじがえし
- ふわふわことば
- 右しずか
- かかとそろえ
- おたすけ声かけ

## ◆◆◆ 本校の研究について（1年間を振り返って） ◆◆◆

研究推進部

これまで7年間にわたり、言語能力向上を目指して研究に取り組んできた本校は、今年度、課題としていた社会科、理科を中心に、学力向上を目指して研究を進めてきました。また、「墨田区学校ICT化推進事業タブレット端末活用モデル校」の指定を受け、9月には、240台のタブレット端末が整備され、学習を深めるツールとして、タブレット端末の効果的な活用方法も合わせて研究してきました。タブレット端末を使った学習は、児童の学習に対する興味・関心を高め、学習へ向かう態度に変化が見られました。一方、一人一台のタブレット端末の活用という未知の分野への挑戦ということもあり、「学力」と「情報活用能力」の双方を限られた時間の中で高めるには、乗り越えなければならない課題がたくさん見えてきました。来年度も引き続き、児童の学力向上を目指し、研究を進めてまいります。また、1月には研究発表も控えております。保護者の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

## ◆◆◆ 本校のオリンピック・パラリンピック教育について ◆◆◆

オリンピック・パラリンピック教育担当

昨年度のマスコットの名前投票（ソメイティとミライトワに決定！）から始まり、今年度も、様々な取組を通して、東京都が掲げる子供たちに身に付けてほしい資質の育成を図ってきました。具体的には、

- 1年生…日本文化を学ぶ「折紙教室」、車椅子の方との交流と表現運動「記号カラダンス」
- 2年生…盲導犬・聴導犬・介助犬の補助犬についての理解
- 3年生…途上国の子供たちの課題についての理解、読売巨人軍ジャイアンツアカデミーによるベースボール型ゲームの体験
- 4年生…障害者アスリートの講演による障害者理解
- 5年生…日本航空の客室乗務員による接遇の学習と、パラトライアスロンについての講演と体験
- 6年生…車いすバスケットボール選手による講演と試乗体験

その他、代表委員会を中心に全校で「ふくの輪プロジェクト」にも参加しました。今後も、様々な取組を実施し、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて子供たちの意識を高めていきます。

全朝：全校朝会 音朝：音楽朝会 体朝：体育朝会 スピトラ：スピードトライアル ク：クラブ活動  
児集：児童集会 委：委員会活動 係：運動会係活動 補：補習(火・木は放課後すみだ塾、金は学級補習)

今月の「校長語らいサロン」  
16日(土) 9:00~9:45 応接室